

明治三十三年五月八日遞信省認可

縣報 第拾號

明治三十三年七月十四日 和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第五十七號

明治二十九年九月當縣令第四十二號社寺總代人撰舉及事務取扱概則第四條中「當撰者」トアルヲ「總代人」ト改正ス

明治三十三年七月三日

和歌山縣知事 小倉久

○和歌山縣令第五十八號

ベスト病豫防ノ爲メ必要アリト認ムルトキハ當該吏員ヲシテ藥物ヲ用キ鼠族ノ驅除ヲ爲サシムルコトアルヘ

建造物又ハ船舶ノ所有者使用者若ハ占有者ニ於テ當該吏員ヨリ藥物ノ交付ヲ受ケタルトキハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一 藥物ハ當該吏員ノ指定スル場所ニ配置スルコト

二 藥物配置ノ場所ハ之ヲ變更スヘカラサルコト

三 藥物ヲ隱匿シ又ハ投棄スヘカラサルコト

四 前各號ノ外當該吏員ニ於テ臨時指示シタル事項

明治三十三年七月五日

和歌山縣知事 小倉久

1049

○告示

○和歌山縣告示第四百十九號

左記ノ者本日頭記ノ番號ヲ以テ和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

明治三十三年七月三日

和歌山縣知事

小倉久

海草郡加茂村大字市坪八百五十三

番地和歌山縣平民

杖村 5 7

第三百八十一號

○和歌山縣告示第五百十號

當縣々稅ヲ賦課スル營業者ニ付與ヌル鑑札ハ自今左雛形ノ通改定ス

但從前付與ノ鑑札ハ引換ヲ要セス

明治三十三年七月七日

和歌山縣知事

小倉久

鑑札雛形

紙製縱五寸五分

横三寸五分

原簿
割印

何第何號

花

縣稅商(工)(何々)業鑑札

年 月 日

何郡何町
何市何村
何大字何々何番地

何 某

紋

和歌山縣何市役所

印

- 一 寄留者ハ原籍地ヲ併記ス
- 一 藝妓ニ付與スル鑑札ニハ氏名ノ左傍ニ生年月ヲ記ス
- 一 行商及居住地ト營業店舖ト異ナルモノ又ハ藝妓ヲ鑑札ニハ氏名ノ冒頭ニ營業地名ヲ記入ス
- 一 藝妓遊藝師匠、遊藝稼人ハ其藝名漁業ノ内鮎鱒漁ハ其河川名網、釣、鶉狩、遊漁ノ舟釣磯釣、管外來漁者ハ其地名又ハ寄港地名ヲ鑑札裏氏名ノ冒頭ニ記入ス
- 一 雜種稅ハ其種目ヲ鑑札面ニ記入ス

○訓令

○和歌山縣訓令甲第七十九號

市町村立小學校教員恩給基金徵收及取扱規則別紙ノ通改正ス
 明治三十三年六月三十日
 和歌山縣知事

(別紙) 市町村立小學校教員恩給基金徵收及取扱規則

縣	町	市	郡	內
	村	役	役	務
小	金	役		
倉	庫	場	所	部
久				

第一條 市町村立小學校教員恩給基金ハ左ノ四期ニ於テ之ヲ徵收ス

第一期 一月ヨリ三月マテ 三ヶ月分 四月中

第二期 四月ヨリ六月マテ 三ヶ月分 七月中

第三期 七月ヨリ九月マテ 三ヶ月分 十月中

第四期 十月ヨリ三月マテ 三ヶ月分 一月中

前項ノ徵收ハ市町村立小學校教員ノ本俸ト加俸トヲ區別スヘシ

第二條 前條ノ納金ハ豫算ニ基キ本俸ニ係ルモノハ教員現數ノ俸額ニ依リ郡長市長ニ於テ
每期其ノ收入額ヲ測定シ納期毎ニ第一條ノ納期末日ヨリ少クモ十五日以前市長ハ市參事

會ニ郡長ハ町村長ニ對シ第一號書式ノ徵收令書ヲ發付スヘシ

加俸ニ係ルモノハ郡ニ於テハ市町村立小學校教員加俸給與細則第三條ニ依リ支給シタル
トキ市ニ於テハ其ノ支給ヲ請求シタルトキ前項ノ例ニ依リ徵收令書ヲ發付スヘシ

第三條 市參事會又ハ町村長ニ於テ前條ノ徵收令書ヲ受ケタルトキハ市町村會計事務規程

ニ依リ支出ノ手續ヲ爲シ其ノ現金ハ第一條ノ納期限内ニ縣支金庫ヘ拂込ニ其ノ領收證ヲ
受クヘシ

縣支金庫ニ於テ前項ノ拂込ヲ受ケタルトキハ其ノ徵收令書ヘ書式ノ如ク證印及割印ヲ爲

シ之ヲ分截シテ領收證ハ拂込人ニ交付シ別符ハ所轄郡長市長ニ送付シ令書ハ金庫ニ留置

クヘシ

第四條 郡長市長ニ於テハ前條ノ別符ヲ日々集計シ縣金庫日計高ト對査スヘシ

第五條 郡長市長ハ第二號書式ニ依リ市町村ノ納付金收入集計書ヲ製シ納期翌月十日以内

知事ニ報告スヘシ

第六條 郡長市長ハ第三號書式ニ依リ其ノ全年度ノ收入決算書ヲ調製シ翌年四月末日迄ニ

知事ニ提出スヘシ

第七條 縣金庫ニ領收シタル現金ハ時々縣廳へ送附セシムルモノトス

第八條 郡役所市役所ニ於テハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一 小學校教員恩給基金納額臺帳 (第四號書式)

前項ノ外必要アルトキハ便宜補助簿ヲ設クルコトヲ得

第九條 市町村收入役ニ於テハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一 小學校教員恩給基金收入受拂日計簿 (第五號書式)

第十條 納付金ニ過誤納アルトキハ其時々町村長ハ郡長ニ市參事會ハ市長ニ請求シ郡長市

長ハ每期收入集計書提出ノトキ書式ノ如ク内金何程過誤納ト朱記スヘシ但調定額ニ誤調

アル場合亦全シ

附 則

第十一條 此規則ハ明治三十三年度ヨリ施行ス但從來ノ手續ニ依リ既ニ徵收シタルモノハ

更正ヲ要セス

第十二條 明治三十三年度ハ第二期ヨリ初ムルモノトス

用紙適宜 縱五寸ノモノニ枚 縱五寸ノモノ一枚接續
 横四寸 横三寸
 (第一號書式)

徵 收 令 書 領

策 何 號	何 郡(市) 何 町 村 納
明 治 何 年 度	小 學 校 教 員 恩 給 基 金
第 何 期 分	

一 金 何 程
 內 何 程
 本 俸ニ係ル分
 加 俸ニ係ル分

右 明 治 何 年 何 月 何 日 限 縣 金 庫 何 支 金 庫 へ 拂 込 へ ン

年 月 日

何 郡(市) 長 氏 名 印

縣 金 庫
對 印

第 何 號	何 郡(市) 何 町 村 納
明 治 何 年 度	小 學 校 教 員 恩 給 基 金
第 何 期 分	

書 證

右領收候也

年 月 日

縣金庫何支金庫印

何 程

加俸ニ係ル分



第 何 號 何 郡(市)何 町 村 納

明 治 何 年 度 小 學 校 教 員 恩 給 基 金 第 何 期 分

一 金 何 程

內 何 程

縣金庫 割印

本俸ニ係ル分 加俸ニ係ル分

符 年 月 日

縣 金 庫 何 支 金 庫 へ 拂 込

(備考)

本俸ト加俸ニ係ル日時ヲ異ニシテ發スルトキハ内譯ヲ削リ金員ノ傍へ
本俸又ハ加俸ニ係ル分ト記入スヘシ

(第二號書式)

明治何年度 明治何年第何期分 小學校教員恩給基金收入集計書

何郡(市)

科 目	豫 算 額	精 算 額	比 較 増 減	附 記	小學校教員 調 定 額		收 入 濟 額		收入未濟額 全上ノ事由
					前期迄累計 本期分	前期迄累計 本期分			
恩給基金									
內 本俸ニ係ル分									
譯 加俸ニ係ル分									
外 何程減額									
內 何程過誤納									
計	全	全			全	全			

右報告ス

年 月 日

何郡(市)長氏 名印

備 考

知事 宛

過誤納金ニ對シ町村分ケ金員ヲ備考ニ記入スルモノトス

(第三號書式)

△ハ朱書

明治何年度小學校教員恩給基金收入精算書 何郡(市)

小學校教員恩給基金

譯	內	加俸ニ係ル分	本俸ニ係ル分

右精算書面之通候也

年 月 日

知事 宛

郡(市)長氏 名印

(第四號書式)

備考

此簿冊ニ登記スルハ一小學校毎ニ區別ヲ爲スヘシ増給減給シタルモノ又ハ復性改名ハ其ノ當初ノ記入ヲ朱二線ヲ以テ抹剛シ其ノ傍ヘ墨書ニテ之ヲ正スモノトス

小學校教員恩給基金納額臺帳

何 廳

就職學校名	管理市町村	給料額	加俸額	摘	要	教員氏名
何小學校	何市町村	月俸何程	何年何月ヨリ 何年何月マテ三 ヶ月分 何程	何年何月何日拜命 何年何月何日増給 何年何月ヨリ年功(特別)		何 某
何小學校	何村組合	、、、、		何年何月何日拜命 何年何月何日改苗名 何年何月何日退職 又ハ何年何月何日何學 校へ轉任ニ付何郡へ移 ス又ハ何々		何 某

(第五號書式)

備考

此簿冊ハ受入當日記入シ之レニ計ヲ附シ現金ト對照シ拂出ハ式ノ如ク掲ケ月計ト其通計ヲ移載シ其年度ノ精算高ニ供スルモノトス

明治何年度

小學校教員恩給基金受拂日計簿

何市町村收入役

何月何日	何月何日	何月何日	何月何日	何月何日	何月何日
第何號納付拂出	計	何小學校教員何人何月分俸額 何程ニ對スル納金第何號命令 何小學校教員何人何ヶ月分 年功(特別)加俸何程	摘	要	受
		一、五〇〇			入
		三、〇〇〇			拂
		四、五〇〇			出
		四、五〇〇			殘
		四、五〇〇			額
內 三、〇〇〇 一、五〇〇〇	本俸ニ係ル分 加俸ニ係ル分				

○和歌山縣訓令甲第八十號

本年六月縣令第五十八號ニ基キベスト病豫防ノ爲メ藥物ヲ用キ鼠族ノ驅除ヲ命令シタルト
 キハ藥物ノ配合配置ノ方法竝危險豫防ノ手續等ハ左ノ方法ニヨルヘシ

町 市 全 警 郡
 村 役 分 察 役
 役 所 署 署 所
 場 所 署 署 所

明治三十三年七月五日

和歌山縣知事 小倉久

藥品使用鼠族驅除手續

第一 藥物ノ配合

- 一 藥品ハ當分ノ中亞砒酸ヲ專用スルコト
- 二 藥物ノ調製ハ別紙ニ記載スル方法ニ依ルコト
- 三 藥物ハ警察官吏ノ立會ヲ要メ市町村長ノ選定シタル藥劑師ニ於テ調製スルコト
- 若シ藥劑師ナキトキハ調製方ヲ醫師ニ屬托スルコトヲ得

第二 藥物配置

四 藥物ノ配置ハ警察官吏及市町村吏員ニ於テ之ヲ行ヒ衛生組合役員ヲシテ各其ノ組合内ニ

於ケル配置ニ付援助セシムルコト

五 藥物配置ハ家並ノ順序ニヨリ各戸ノ炊事場附近天井、床下、土藏、下水溝等鼠族ノ栖息シ又ハ通行スヘキ要所ヘ一個乃至數個ヲ配置スヘキコト

六 藥物ハ最危険ナレバ其ノ配置時間ハ特別ノ場合ノ外日没ヨリ日出頃マテトシ毎朝配置場

所ニ臨檢調査シ藥物ニ殘餘アラハ晝間ハ一旦引上ケ置クヘシ但シ人又ハ犬猫等ノ出入セサル場所ニ在リテハ此限ニ在ラス

七 配置ハ三夜間引續キ施行スルコト

八 配置中ハ家人ニ注意シ鼠族ノ食ス可キ一切ノ食物ヲ取り除キ成ルヘク饑餓ニ迫ラシムルコト

九 一旦使用シタル藥物ニシテ形狀ノ損シタルモノハ再ヒ用キサルコト

十 配置シタル戸數ニ對シテハ左記様式ニ依リ食不食ヲ調査シ四日目毎ニ市ハ直ニ町村ハ郡

役所ヲ經テ當廳ニ報告スヘシ

第一日	第二日	第三日	第一日	第二日	第三日	計
			配置個數	食ケ數	半食ケ數	不食ケ數
						變鼠發見數
						町名番地氏名

第三 危險豫防

十一 藥物ハ危險ノ虞ナキ場所又ハ犬猫ノ食シ難キ場所ヲ選ヒ配置スヘキコト

十二 藥物ヲ配置スルトキハ其ノ家人ニ對シ左ノ事項懇諭スルコト

一 犬猫ハ成ルヘク緊留又ハ一室ニ押込メ置ヘキコト

二 飲食物ノ容器類ハ押入蠟不入等ニ入レ置キ水瓶漬物桶等ニハ蓋ヲ爲スコト

三 井戸ニハ蓋ヲ爲スヘキコト

四 藥品ハ熱氣ニ逢フトキハ猛毒飛散シ身体ヲ害スルモノナレハ必ス火中セサル様注意

スヘキコト

五 藥物取集後若シ藥物ノ存在ヲ發見シタルトキハ警察官吏又ハ市町村吏員ニ届出ヘキコト

十三 配置後家人ニ於テ遵守スヘキ條件ヲ履行セス又ハ注意ヲ怠リタルトキハ當該吏員ニ於テ必要ノ處分ヲ爲スコト

十四 藥物配置中ハ市町村ハ醫師ヲシテ解毒劑ヲ携帶其ノ區域内ニ臨時出張セシメ置シコト

十五 當該吏員ハ兼テ醫師ト氣脈ヲ通シ危害發生ノ場合ハ直ニ應急ノ處置ヲ施シ得ヘキ方法ヲ設ク置クヘキコト

第四 藥物配置ノ區域

十六 凡ソ市ハ二百戸乃至千戸町村ハ五十戸乃至二百戸ツヽヲ限リ三夜施行シ遞次他ニ施行スヘキコト

十七前項ノ施行ニ就テハ警察官吏市町村吏員互ニ共同援助スルコト

第五 斃鼠ノ搜索

十八ベスト患者又ハ死者及ベスト有菌鼠族ノアリタル場所並ニ其ノ附近必要ノ部分ハ三日間藥物配置ノ後消毒的清潔方法ヲ施行シ斃鼠ノ搜索ヲ行フヘキコト

十九前項以外ノ部分ハ三日間藥物配置ノ後各戸ヲシテ出來得ル限り斃鼠ノ搜索ヲ行ハシムルコト

二十市役所並ニ町村役場ニ於テハ藥物配置ノ區域内ニ運搬シ得ヘキ斃鼠投棄函ヲ設備シ其ノ投棄ニ便ナラシムヘシ

廿一藥物配置中斃鼠ヲ發見シタルトキハ最寄投棄函ニ投入セシムルコト

但斃鼠ハ箸又ハ火箸ヲ以テ取扱ヲ爲スヘキコト

廿二市役所並ニ町村役場ハ毎朝藥物ニヨリ斃死シタル鼠族ヲ收集メ人家遠隔衛生上害ナキノ地ヲ選ヒ六尺以上ノ地下ニ埋没シ若ハ陸地ヲ距ル一里以上ノ海中沈没ノ裝置ヲナシ投棄スヘシ

廿三藥物使用後ノ殘品ハ前項ニヨリ措置スヘシ

第六 船舶

廿四船舶ニ就キ藥物ヲ以テ鼠族ノ驅除ヲ爲サントスルトキハ本手續ニヨルヘシ

(別紙)

藥物調製方法

処方

亞砒酸

三十五分

甘藷 (燒)

六十分

蕃椒 (燒)

三十分

サリシール酸

二分

右混合シテ蜂蜜或ハ二倍ノ「グリセリン」水ヲ以テ研和シ「メチユールピチソット」ニテ着色シ軟膏樣調度ノ塊トナシ方一寸厚二分ノ板狀トナスヘシ

配置器

方五寸厚三分ノ木板ニシテ表面ヲ黑色トシ白書ニ若ハ裏面ヘ「ねづんどりとくやく」ト平假名之字ニテ明記シ尙其ノ兩端ニハ棧ヲ設ケタルモノ

圖表



裏



藥物ハ配置器ノ表面ノ中央ニ置クヘキモノトス
但シ危險ノ虞ナキ場所ニ限り厚紙若ハ竹皮包トナシ配置スルモ妨クナシ

○和歌山縣訓令甲第八十一號

明治三十二年^{十二月}和歌山縣訓令甲第七十七號訓令中擢リ下又ハ心臟瘰癧ニ陥リノ九字ヲ挿入シ第七號第九號ノ急性ノ二字ヲ削リ第十一號ノ次ニ左ノ通追加ス
明治三十三年七月五日
和歌山縣知事 小倉久

郡 役 所
警 察 署
警 察 分 署
市 役 所
町 村 役 場

第十二 肋膜炎

第十三 脚氣衝心

第十四 發疹室扶斯腸室扶斯類似症

第十五 梅毒

第十六 病名不詳ノモノ

○和歌山縣訓令甲第八十二號

郡 役 所
警 察 署

國稅外諸收入收納事務委任規程別紙ノ通相定メ從前ノ規程ハ廢止ス

和歌山縣知事 小倉 久

國稅外諸收入收納事務委任規程

第一條 明治三十三年四月大藏省令第二十七號諸收入收納取扱規程第三條ニ依リ和歌山縣ニ

屬スル國稅外諸收入ノ内別紙ノ科目ニ係ル收入收納ノ事務ハ郡長警察署長ニ委任ス

第二條 郡長又ハ警察署長ニ於テ前條ノ收入ヲ徵收セントスルトキハ諸收入收納取扱規程

第二條ニ依リ納入告知書ヲ發スヘシ但其ノ納入告知書發行者ハ郡長又ハ警察署長名ヲ用

ヒ之ニ連續スル金庫通知書ノ宛名ハ知事名トス

第三條 納入ニ於テ納金ヲ其ノ期限内ニ納付セサルトキハ直ニ督促シ尙完結セサルトキハ

其ノ住所、氏名、納付スヘキ金額、科目及事由ヲ具申スヘシ

第四條 納入ヲシテ現金ヲ金庫ヘ納付セシメ難キモノハ諸收入收納取扱規程第二條但書ニ

依リ納入告知書ノ發行ヲ要セス直ニ收入官吏ヘ即納セシメ收入官吏ヨリ適宜領收證ヲ交

付セシムヘシ

前項即納ノ金額ヲ收入官吏ヨリ金庫ヘ拂込トキ其ノ拂込書(三十三年四月大藏省令)第十二號ヲ以テ改正(十二號ヲ以テ改正)ニ接

續スル通知書ハ知事名トス

第五條 郡長又ハ警察署長ハ徵收簿ニ依リ徵收報告書ヲ調製シ翌月七日マテニ縣廳ヘ到達スヘキ様發送報告スヘシ但歲入金月計對照表ハ金庫ニ於テ一紙ニ調製シ縣廳ヘ提出スルニ依リ分掌者ヘ送付セサルモノトス

本條ノ徵收簿及報告書ノ様式ハ從來ノ例ニ依ルヘシ

第六條 郡長又ハ警察署長ハ一ケ年度ノ徵收額明細書ヲ調製シ之ニ各目細別取調書ヲ添ヘ毎年四月中知事ヘ報告スヘシ但報告書提出後同年度ニ屬スル徵收アルトキハ追報告書ヲ提出スヘシ

本條ノ徵收額明細書ハ從來ノ調定額明細書ノ様式ニ依リ其ノ様式中調定濟額ノ次欄備考ヲ徵收濟額ニ改メ從來備考ニ記シタル事由ハ各目細別取調書ニ記スヘシ其ノ細別取調書ハ從來ノ明細取調書ノ例ニ依ルヘシ

郡長ヘ委任科目

警察署長ヘ委任科目

經常部

經常部

款項目

款項目

官業及官有財產收入

官有物貸下料

地所貸下料

雜收入

懲罰及沒收金

罰金及科料

雜收入

沒收金

懲罰及沒收金

沒收金

臨時部

官有物拂下代

官吏遺族
扶助法納金

官吏遺族
扶助法納金

物品拂下代

物品拂下代

學校職員退隱及遺
族扶助法納金

學校職員退隱及
遺族扶助法納金

臨時部

官有物拂下代

地所拂下代

地所拂下代

物品拂下代

物品拂下代

雜收入

返納金

雜種貸金
据償貸金

○和歌山縣訓令甲第八十三號

明治三十三年六月和歌山縣訓令甲第七十四號海軍召集事務細則中左ノ通改ム
明治三十三年七月七日

和歌山縣知事

小倉久

町	市	同	警	郡
村	役	分	察	役
役		署	署	所
場	所			

一第六條第二項中「總テ當廳ヨリ發スヘキモノト同一トシ且」ノ下ニ「充員召集ニアリテハ」ノ九字ヲ加フ

一第十條 第十二條ノ補助簿ヲ調製シタルトキハ直ニ其ノ謄本ヲ當廳ニ差出スヘシ又爾後異動アリタルトキハ其ノ都度報告スヘシ

前項補助簿ノ調製ニ時日ヲ要スルモノアルトキハ先ツ其ノ住所兵種氏名及現役ヲ離シタル年月日ヲ當廳ニ報告スヘシ

一第十二條中其ノ筋ノ原簿ト對照ノ爲送付スヘシ」ヲ「當廳ヨリ鎮守府ノ原簿ト對照スルモノトス」ニ改ム

一第三十一條 海軍下士卒服役條例中在籍鎮守府ノ兵事官トアルハ兵籍ヲ管スル兵事官ト

雛形

郡

村尋常小學校地平面圖

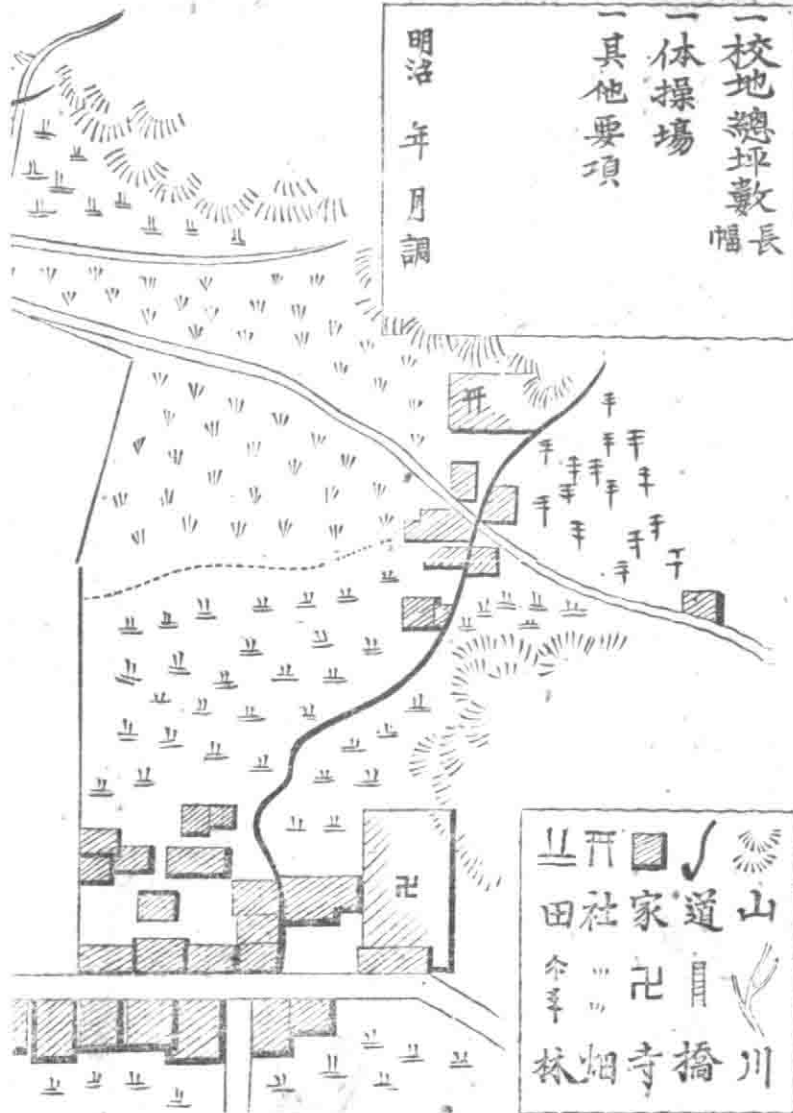
縮尺
五百分之二

一校地總坪數
長幅

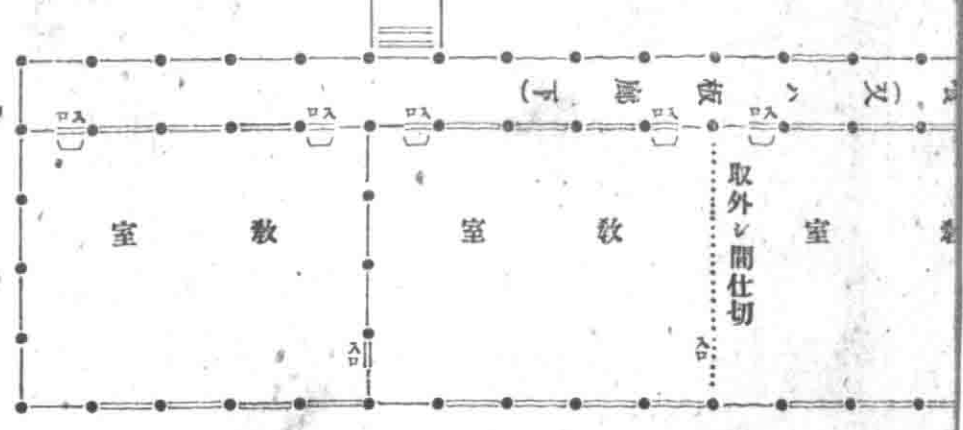
一体操場

一其他要項

明治 年 月 調



山 道 家 田 林
 山 橋 家 田 林
 川 橋 家 田 林



(雜形)

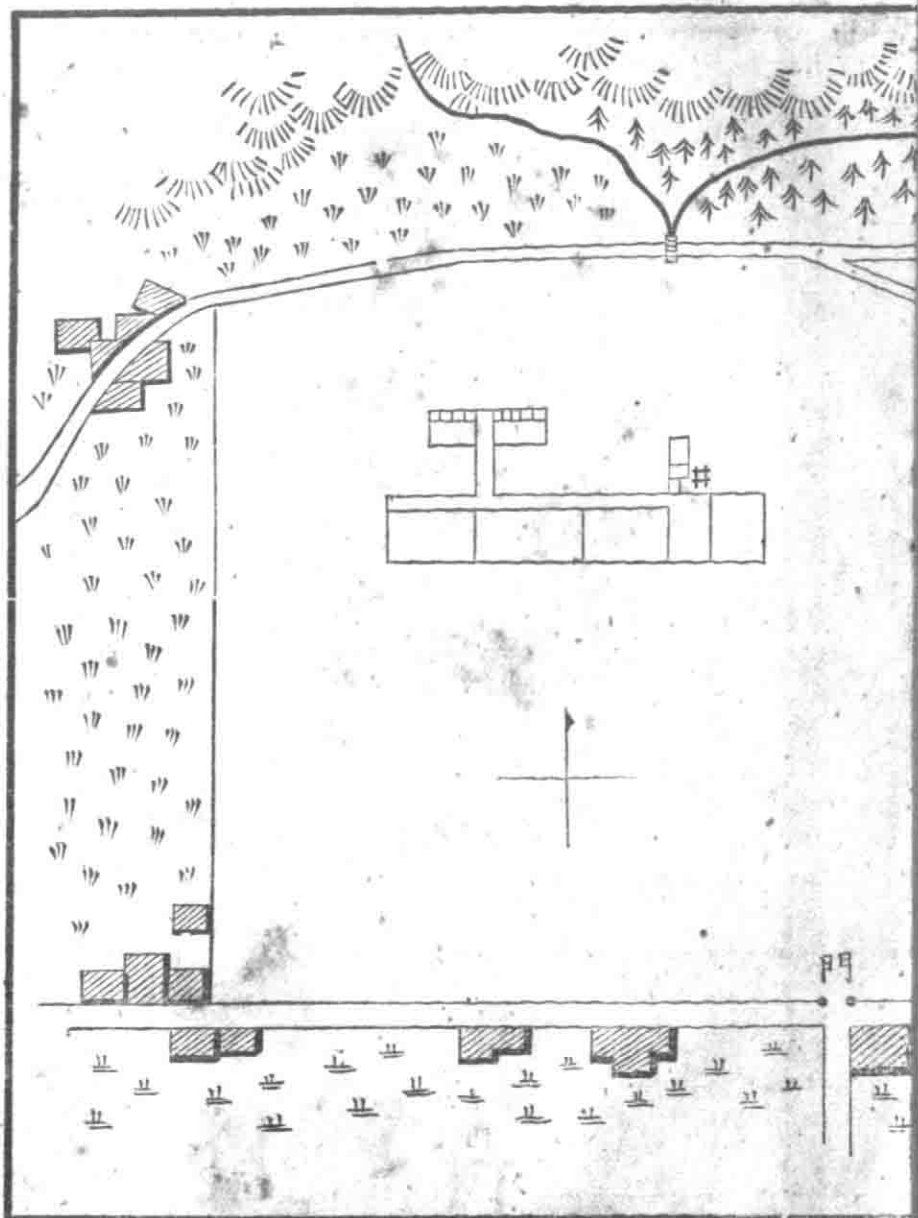
何郡何村尋常小學校校建物平面圖

縮二百分の一 尺

- 一、校舍總坪數
- 一、教室坪數
- 何教室長何間何坪
- 一、全壁色
- 一、床ノ高サ 何尺
- 一、天井ノ高サ 何尺
- 一、窓 構造位置及大サ
- 一、出入口戸ノ種類

- 一、新築 何年何月
- 一、増築 何年何月
- 一、建築費 何百何十圓
- 一、増築費 何百何十圓
- 一、其他備考
- 明治何年何月調





シテ取扱フヘシ

一第三十二條第三十三條削除以下順次繰上テ

○和歌山縣訓令甲第八十四号

郡役所
市役所

町村役場

市町村立小學校

市町村立小學校校地ヲ撰定若クハ變更シ又ハ校舍ノ新築増築改築等ヲナシタルトキハ別紙
樣式及雛形ニ準據シ其都度遲滞ナク市ハ直ニ町村ハ郡長ヲ經由シテ當廳ニ進達スヘシ
既設ノ校地校舍ハ前項ニ準シ現形ノ分ヲ調査シ本年九月末日限進達スヘシ
明治三十三年七月七日
和歌山縣知事 小倉久

(樣式)

記

一建物平面圖

(用紙美濃ト一サ引、縮尺二百分ノ一)

校舍總坪數、各室ノ名稱、間數、坪數、床ノ高、天井ノ高、窓ノ構造位置及其大サ、教室內壁
色、出入口、便所ノ位置及男女用ノ區別等ヲ記スヘシ二階建以上ノモノハ張紙トシ且階段
ノ位置ヲ記スヘシ

一 校地平面圖

(用紙同上、縮尺五百分ノ一)

四隣ノ位置、狀況、校地總坪數、間數、体操場坪數、建物及井戸ノ位置、高燥、卑濕、埋地、砂地、岩石地等ノ區別及全体ノ高低ヲ記スヘシ

注、意

圖面ノ方位ハ北方ヲ上トシ圖ハ必ス墨書シ朱又ハ鉛筆等ヲ以テ書スヘカラス
寺院民屋等ヲ仮用スルモノハ其旨圖面ノ側ニ記スヘシ
校地圖ニハ其地補地目ヲ記スヘシ

明治三十三年七月十四日發售

（壹頁代價金 一圓五毛）

和歌山縣

印刷人

印刷所

和歌山市九番丁九番地 助
前川初之助
和歌山市十二番丁十三番地
和歌山印刷株式會社